

高齢者虐待を防ぎましょう

高齢者虐待を早期に発見するためには、日頃から高齢者や家族・介護者が発するサインを見逃さないことが大切です。高齢者に対する虐待を見たり聞いたりしたとき、あるいは「虐待かな？」と思ったときは、まず相談しましょう。

高齢者虐待防止法では高齢者への虐待を大きく5つに区分しています

▶身体的虐待

- たたく、つねる、殴る、蹴る、やけどを負わせる
- ベッドに縛り付ける、意図的に薬を過剰に与えて身体を拘束する など

▶介護・世話の放棄放任（ネグレクト）

- 髪が伸び放題だったり、肌が汚れている
- 空腹状態が続いていたり、脱水症状や栄養失調の状態にある
- 劣悪な住環境の中に放置し生活させる など

▶心理的虐待

- 排泄などの失敗に対して高齢者に恥をかかせる
- 子ども扱いをする、怒鳴る、ののしる、悪口を言う など

▶性的虐待

- 懲罰的に下半身を裸にして放置する
- 同意なしに性的な行為を強要する など

▶経済的虐待

- 日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない
- 本人の年金、預貯金などを本人の意思、利益に反して使用する など

相談窓口 地域包括支援センター ☎68-3737
保健福祉部 高齢福祉課 ☎82-1115



高齢者福祉サービス制度 家族介護支援事業

問・申保健福祉部 高齢福祉課 ☎82-1115



◆介護用品給付券交付事業
在宅の要介護3以上の高齢者を介護している家族に、5千円分の紙おむつなどの介護用品と引き換えができる給付券を交付します。

▼対象者 次のどちらかに該当する方
●要介護4以上の判定をされた方
●要介護3で、日常的に紙おむつを使用する方

▼給付内容 ①紙おむつ ②尿取りパット ③使い捨て手袋 ④清拭剤 ⑤ドライシャンプー ⑥消臭剤 ⑦とりみ調整食品

▼注意点 入院中・施設入所の方は使えません。給付券の返却をお願いします。

◆要介護高齢者等介護者手当支給事業
在宅の要介護3以上の要介護高齢者を介護している家族に、介護者手当を支給します。

▼対象者 介護用品給付券の対象となる方と同居または毎日通って介護している家族（住民票上の住所が違っていても申請できます。）

▼給付内容
●在宅期間14日以上の月、1月ごとに5千円。
●過去1年間デイサービスなどの介護サービスを利用していない方の介護者に対しては、1カ月ごとに1万円を支給します。

▼給付方法
月ごとの在宅日数を確認する確認票を提出していただき、審査後に支給します。（上期・下期の年2回）申請された下期分の対象者には、2月中旬に確認票を郵送してきます。提出期限までに忘れずに提出してください。

一人一人が主役！

みんなで取り組むSDGs

エスディー・ジーズ

●総務部 経営戦略室 ☎81-2117

さまざまなところで見かけることが増えたSDGs。SDGsってなんだろう？ 自分にできることは何なのか。シリーズで考えていきます。

Sustainable 持続可能な
SDGs Development 開発
Goals 目標

SDGs（持続可能な開発目標）とは？

SDGsとは、2016年から2030年までを期間とした、「地球上の誰一人も取り残さない持続可能な世界」を実現するために、「すべての人が主役となって取り組む国際目標」です。貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、世界が抱える課題を解消するための目標を包括的に示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2019年に発表されたSDGs達成の国際ランキング*で日本は、162カ国中15位。目標が達成されていると評価されたのは「目標4: 質の高い教育をみんなに」、「目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう」の二つで、そのほかの目標は達成できていません。

中でも「目標5: ジェンダー平等を実現しよう」、「目標12: つくる責任つかう責任」、「目標13: 気候変動に具体的な対策を」、「目標17: パートナーシップで目標を達成しよう」の4つは、大きな課題とされています。

日本では教育や産業での達成度は高いものの、天然資源の保護・管理や食品ロスのように生産と消費のバランスなど限りある資源の保護に課題を抱えています。



SDGsは私たちの暮らしにも密接に関わります。先進国と途上国、そして行政、企業、私たち個人がともに手をとって努力をしていかないことには、生活水準の格差是正や限りある資源の維持など、世界の深刻な問題は解決できません。

* SDSN, ベルテルスマン財団 発行『SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2019』より

私たち一人一人にも、できることが数多くあります。2030年の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中で浸透させていくことが必要です。

こおりやま広域圏連携事業 国立環境研究所 SDGs 出前講座（初心者向け）

「SDGs」とは？という視点で、市民や事業者などを対象にセミナーを開催します。入場無料。事前申込は不要です。
●日時 3月23日(月) 午後6時30分～8時
●会場 市役所1階 多目的ホール
●講師 (国研) 国立環境研究所 福島支部 研究グループ長 林 誠二さん 主任研究員 五味 馨さん